



日本共産党文京区議会議員  
 **mandatedachi 幹夫**  通信  
 2010年5月7日号 No.145

**'みなさんをいつもまんやかに、'**

区議団控室：5803-1317（直通）  
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7  
 ・fax 3868-8355  
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》



高齢者居住法における、高齢者単身・夫婦世帯など専ら高齢者世帯に賃貸する「高齢者専用賃貸住宅」のうち、厚生労働大臣が定める基準に適合するものとして都道府県知事に届け出ているもの。

高齢者のための住宅整備を―「高齢者専用賃貸住宅」を訪ねて

**“ 明るい雰囲気、快適に過ごせそうな施設。こういふところが文京区内にもあればね…”**

「環境はいいし、職員は親切。洗濯もしてくれるんだ。」 昨年、もう一人暮らしは大変だろうと、子どもさんと相談して「適合高齢者専用賃貸住宅」（注 左囲み参照）に入居したKさんを訪ねました。

場所は茨城県土浦市。駅からバスで20分、これから開発されると思われる地域です。半年ぶりに会ったKさんは大変元気で、「最初は何もないと顔で迎えてくれました。」と笑

施設は、全個室。広い廊下と室内も

広めです。要介護1以上で、共同生活ができる人なら申し込みができ、病院との連携や介護サービスも受けられ、24時間体制のスタッフが常駐し、食事まで提供する事ができる「自宅」です。家賃、生活費はすべてまとめて月13万円、高いとみるか安いとみるか…。

高齢者住宅が大きな課題になっているだけに、都心にほしい施設です。まだまだ元気だけど独立した生活には不安 という方は決して少なくありません。



**全有権者に“足で届ける” 党の政策、見解**

連休中の2日。「赤旗」5月号外と区議団ニュース「みんなのまち」の2種類のピラの配布のための準備をしました。

「普天間基地、無条件撤去こそ解決の道です」号外的一面大見出しが今の情勢にピッタリ合います。「みんなのまち」は、定例区議会後の論戦の特徴を満載。保育園待機児対策の問題点、区の事業の民間への委託上の問題点など、明らかになった点をまとめました。「一枚のピラが人の心を打つ」そんな思いで配付します。ぜひご一読を。



**まんがで日誌**

28日 教職員組合のみなさんと懇談。教育現場の状況は、とにかく忙しい！  
 そつです。夜9時頃、「お先に…」と帰るのが日常的だとか。先生方の忙しさが子どもたちにもどのように影響するの心配です。

1日 第81回ミーデー。残念ながら会場に行けませんでした。それに呼応して夕方、グルメシティー前で宣伝と署名。毎土曜日の午後4時半から5時、定時定点での宣伝を始めています。みなさんぜひご協力をお願いします。

4日 この間、人気作家・東野圭吾さんの小説を立て続けに読み、「中毒」になりました。よくもここまでトリックや人間関係が書けるものだ。ただただ感心するばかり。小説はやはり、奇です。